

# 病院・医療等対策特別委員会

## ▶ 特別委員会の協議経過

### ■第20回特別委員会

- 1) 期日 令和5年8月15日(火)
- 2) 内容 坂下診療所・坂下老人保健施設の民営化進捗状況について
- 3) 報告事項  
坂下診療所・坂下老人保健施設の民営化進捗状況について

### 【坂下診療所・坂下老人保健施設の民営化進捗状況について】

#### ▶ 主な質疑

Q：現在の財政支援はどうなっているのでしょうか。

A：令和4年度は特別繰入を含んで4億9千万円で、令和5年度の当初予算レベルでは、2億8千万円ほどの要求をしておりますが、今後、特別繰入(赤字補てん)をいただかなければならない可能性はあります。

Q：医療機能の制約とは、どのような内容ですか。

A：例えば、眼科や小児科を残してほしいといった要望がありますが、法人からの提案の中では、それは今回継続することはできないといった、何らかの形で今よりも機能が落ちる提案となりうる、そうしたことも含めての医療機能の制限という考え方です。

Q：平成30年度までの調査では、旧坂下病院に興味を示す民間法人は全くなかった。今回、純正会が名乗りを上げたのにはどういった変化があったのか。

A：以前の調査では、当時持っていた病床199床と、さらに診療科としまして耳鼻咽喉科・泌尿器科・婦人科・皮膚科・脳外科・血管外科があり、これらすべてが存続するような形で民営化調査を行いました。しかし今回は、法人でどのような利活用ができるかを提案していただきたい、どのような機能でやっていくかといった選択をお願いしたため、調査の仕方と条件が違ってきます。

Q：医療法人純正会を運営事業候補者としたとありますが、これは確実に決定ということですか。他に交渉の余地のある法人はあるのでしょうか。

A：あくまでも民営化の実現に向けてこれから交渉する候補者ですが、この法人以外はありません。

Q：病床確保の案に残念ながら多くの東濃圏域地域医療構想等調整会議(以下調整会議)の委員が反対されて、理解を得ることができなかった理由として、市のこれまでの取り組みと逆行

しているとのことですが、どう逆行しているのですか。

A：医師会の先生方の考え方もいろいろあると思いますが、全体としては病床を減らすといった流れが強い中で、減らしたものを増やすことを、逆行したといった表現をされたと思っております。

Q：病床が増えることについて急性期ではなく、逆に慢性期等の病床の需要が多い時期になってきていると思われま。既存の病院を守ることが重要であれば、そこを増やすこと自体はいいことなのでは。

A：東濃圏域全体でも病床が不足している中で、そういった回復期を担っていただくことができれば、地域医療の安定に繋がると考えており、今進めておるところでございます。

Q：今後もう一度、調整会議をされるようですが、医師会の方々の賛成を得ることができるのか。

A：市民病院で回復期を79床持っています。さらに、将来のことを踏まえて44床を休床していますが、回復期用に押さえてあります。その分を坂下で作るといった、具体的な説明をさせていただこうと考えております。

Q：基本合意書を交わしたとのことですが、経営形態が変われば一番心配なのは職員の待遇です。今どのような状況にありますか。

A：職員に対しましては、会計年度任用職員を含めまして、全職員を対象に法人による説明会を開催させていただきました。その時には、法人の概要や病院経営の基本理念についての説明をしていただいております。

Q：民営化で民間移譲した場合の財政支援は、どのように考えているのか。

A：今後本決まりになれば、その法人との協議が始まると思いますが、事業が安定化するまでは、支援金なり市からの補助を考えております。

Q：地域の人たち、市民に対する説明は中津川市がやるべきだと思いますが、どういったお考えでしょうか。

A：市民、特に地域の方々への説明は必要だと思っておりますので、適時機会を見て判断したいと思っております。

Q：借地問題は、解決しなければいけない問題だと思っております。現状はいかがでしょうか。

A：地権者の皆様には、前向きにご検討いただいております。民営化がしっかりと進む前提で買収に応じるといった地権者もおみえになります。

Q：民間譲渡は無償ですと言われた気がするのですが、土地も含めてなのか確認したいです。

A：現時点の考え方ですが、建物については無償と考えております。土地については、借地購入分を法人に負担してもらう方向で今後協議していきます。

- Q : 市民病院の360床から、休床している44床を坂下へ持っていった場合316床になるが、市民病院のベッド数が減ると医師確保に影響が出て来るのではないか。
- A : 急性期を充実させることで、医師にも興味を示していただけると言われておりますので、市の方針として、市民病院は今後急性期を充実していくことをしっかり説明することが重要と考えております。